



きょうこう しゅうよんせい 2026 年 8 月 23 日、^つ「お告^{いの}げの祈り」でのことは

親愛なる兄弟姉妹の皆様。こんにちは。

今日の主日の福音（マタ 16・13-20）は、信仰の旅路を歩むわたしたち一人ひとりに向けられた問いにわたしたちを直面させます。——イエスはわたしにとって本当にいかなるかたか。

福音の記事から、この問いかけが弟子の経験にとってどれほど決定的に重要であるかが理解できます。実際、十二使徒は師であるかたの生活と職務をすでに共有していました。にもかかわらずイエスは、使徒たちがご自身のことを真に知り、神の国の神秘を理解することが当然のことだと考えませんでした。そこでイエスは、人々がご自身についてどういっているかについて問うた後、使徒たちに直接問いかけます。「それでは、あなたがたはわたしを何者だというのか」（マタ 16・15）。

兄弟姉妹の皆様。これはすべての時代の弟子、またわたしたち一人ひとりにとって根本的な問いです。実際、信仰は一度かぎりでも与えられるものではありません。反対に、わたしたちはつねにキリストのみ顔とその福音を再発見し、その使信の理解を深め、あらためて自分の生活に関する選択を行わなければなりません。それは、わたしたちが自分の告白することと首尾一貫した者となり、自分がすでにすべてを知っているという誘惑や、信仰を単なる習慣にしてしまう誘惑に打ち勝つためです。

わたしたちに日々問いかけられる問い——イエスはわたしにとっていかなるかたか、わたしの人生におけるイエスの存在の意味は何か——は、とくに祈りの中で、また福音を黙想するときに生じます。しかしそれは、兄弟の傷と困窮を目の当たりにしたときや、わたしたちの良心に問いかける人間関係や状況の中でも生じます。要するに、わたしたちは生活の現場の中で、主イエスが重要なことを語り、また行った歴史上の偉人にすぎないのか、それとも、わたしたちを御父の愛へと歩み入らせ、わたしたちの人生とわたしたちが生きる世界を変革するために遣わされた神のキリストであるかを確認することができるのです。

愛する友人の皆様。自分の信念や宗教的な確信に閉じこもらず、キリストとの真の關係に心を開き続けることを学ぼうではありませんか。わたしたちは時として、キリスト教信仰に関して、「伝聞」や決まり文句、たとえ善意によるものであっても人から伝えられたことに満足してしまうことがあります。しかしイエスは、わたしたちが個人的に応答し、イエスを身近に知り、つねに新たな出会いを通じてイエスとの友愛によって自らを深めるようにと招きます。この出会いは、わたしたちが思いもよらない道を歩み、想像していたのとは異なる

選択を行うように求めることもありえます。このことはわたしたちの個人的な歩みにも、教会の歩みや司牧的選択にもいえます。司牧的選択において、わたしたちは時として、いつもしてきたのと同じようにすれば十分だと思えることがあるからです。しかし、しばしばこう自問することは重要です。——わたしにとって主はいかなるかたか。わたしは本当に主を知っているか。福音は今日、わたしに何を求めているのか。わたしはどのように歩み、どのような選択をなすべきかと。

御子を通して心のうちで神のみ旨を尋ね求めたおとめマリアに願い求めます。マリアがわたしたちの信仰の歩みをつねに導いてくださいますように。

(カトリック中央協議会 h p より)

はつせいたい 初聖体



はつせいたいしき
初聖体式が 6 月 7 日（キリストの聖体）に行われました。藤井たけおくん、おめでとうございます。

初聖体をうけた気持ち

藤井たけお

達成感を感じ取れました。今まで、勉強してきた達成感があってうれしかったです。

これからも、勉強をして、イエスさまをもっと知りたいと思いました。これから兄に勉強を教えてもらおうと思います。そして兄みたいに、もっとよくイエスさまを知りたいです。

その目標にむけて家でも勉強をして、ママやパパみたいになりたいです。



おしらせ



1

けいろう つど 敬老の集い

9 月 20 日（日）11：45 ～ サントルチア講堂にて敬老の集いが行われます。
美味しい食事と楽しいアトラクションをご用意しています。75 歳以上の対象者の方と
共に一般の方のご参加をお待ちしています。是非、皆様も進んでご参加ください。

2 きょうかい いんかい 教会委員会

9 月 6 日（日）11：30 ～ サントルチア講堂にて教会委員会が行われます。
※当日参加できない場合は、代理の方に出席をお願いしてください。

3 せかいなんみんいじゅうどうしゃ ひ けんきん 世界難民移住移動者の日の献金（9 月 27 日）

「世界難民移住移動者の日」は、9 月最終日曜日です。1970 年、時の教皇パウロ 6 世が、
教皇庁移住・移動者司牧評議会を設立したことを受け、「各小教区とカトリック施設が、
国籍を超えた神の国を求めて、真の信仰共同体を築き、全世界の人々と『共に生きる』
決意を新たにする日」として設立されました。

「世界難民移住移動者の日」では、おもに滞日・在日外国人、海外からの移住労働者、
定住・条約難民、外国人船員や国際交通機関の乗組員とその家族のために「祈り・司牧
的協力・献金」がささげられ、それらは日本カトリック難民移住移動者委員会を通じて、
幅広く支援に役立てられています。

.....

9 月 28 日 せい にしさい じゅんきょうしゃ 聖トマス西司祭と 15 殉教者

「聖トマス西と 16 殉教者」

豊臣秀吉の時代に長崎で殉教した「日本 26 聖人」（2 月 5 日記念日）は広く知られてい
ますが、江戸時代初期の徳川家光の時代（1630 年代）にも、激しい弾圧のなかで信仰を
貫いた人々がいました。それが「聖トマス西と 16 殉教者」です。

日本で初めて聖人として認められた日本人司祭（トマス西、サンタマリアのヤコブ朝長、十
字架のビンセンチオ塩塚）や、女性信徒（長崎のマグダレナ、大村のマリナ）が含まれてい
ます。

また、一度は国外追放となりながらも死を覚悟して再来日した外国人司祭や、フィリピン初
の聖人となったロレンソ・ルイズも共に命を捧げました。

彼らは 1987 年にローマ教皇ヨハネ・パウロ 2 世によって列聖されました。



今月の教会カレンダー（典礼暦・外国語ミサ・行事等）



9月 4日（金）	はつきん 初金	休み	
9月 6日（日）	ねんかんだい しゅじつ 年間第23主日	10:30	ミサ
		11:45	きょうかい いんかい 教会委員会
		14:00	えいご 英語ミサ（English）
9月13日（日）	ねんかんだい しゅじつ 年間第24主日	10:30	しゅうかい さいぎ 集会祭儀
		15:00	ポルトガル語ミサ（Português）
9月20日（日）	ねんかんだい しゅじつ 年間第25主日	10:30	ミサ
		11:45	けいろう つど 敬老の集い
		12:30	かんこくご 韓国語ミサ（한국어）
9月27日（日）	ねんかんだい しゅじつ 年間第26主日	10:30	ミサ（ちばしんぶししき 千葉神父司式）
		16:00	ベトナム語ミサ（tiếng Việt）
10月 2日（金）	はつきん 初金	休み	
10月 4日（日）	ねんかんだい しゅじつ 年間第27主日	10:30	ミサ（けんしんしき 堅信式）
		14:00	えいご 英語ミサ（English）

※初金のミサは、8月～11月までお休みです。

かくいいんかい について
各委員会の日程

じょせいかい
女性会

お休み

きすなの会

お休み

てんれいいんかい
典礼委員会

9月19日（土）

9:30 ～ センターホール

ちいきふくしいんかい
地域福祉委員会

9月20日（日）

11:45 ～ サントルチア講堂

こうほういいんかい
広報委員会

9月27日（日）

9:45 ～ センター事務所